



2024年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月12日

上場会社名 粧美堂株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7819 URL <https://www.shobido-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 正秀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 斉藤 政基 (TEL) 03-3472-7890
 定時株主総会開催予定日 2024年12月19日 配当支払開始予定日 2024年12月5日
 有価証券報告書提出予定日 2024年12月19日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期の連結業績(2023年10月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	20,919	2.3	1,010	16.2	967	△0.4	773	62.8
2023年9月期	20,443	18.3	869	36.9	972	57.7	475	△7.1

(注) 包括利益 2024年9月期 668百万円(47.9%) 2023年9月期 452百万円(△48.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	58.59	—	12.1	6.5	4.8
2023年9月期	35.99	—	7.9	6.5	4.3

(参考) 持分法投資損益 2024年9月期 一百万円 2023年9月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	14,427	6,575	45.6	497.78
2023年9月期	15,197	6,300	40.8	469.85

(参考) 自己資本 2024年9月期 6,575百万円 2023年9月期 6,206百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	832	△395	△811	3,725
2023年9月期	32	△88	△85	4,088

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年9月期	—	5.00	—	12.00	17.00	224	47.2	3.7
2024年9月期	—	10.00	—	12.00	22.00	290	37.5	4.5
2025年9月期(予想)	—	11.50	—	11.50	23.00		39.0	

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	21,500	2.8	1,150	13.9	1,140	17.8	780	0.8	59.05

(注) 年次で業績を管理しているため、通期業績予想のみ開示いたします

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) 壹見健康科技 (上海) 有限公司

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2024年9月期	13,410,000株	2023年9月期	13,410,000株
2024年9月期	200,227株	2023年9月期	200,227株
2024年9月期	13,209,773株	2023年9月期	13,209,773株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年9月期の個別業績 (2023年10月1日~2024年9月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	19,948	3.5	828	△4.5	914	△12.5	690	△0.3
2023年9月期	19,265	18.7	867	26.2	1,045	43.6	692	12.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期	52.25	—
2023年9月期	52.43	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	14,720	6,928	47.1	524.47
2023年9月期	14,986	6,626	44.2	501.66

(参考) 自己資本 2024年9月期 6,928百万円 2023年9月期 6,626百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信 (添付資料) 4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(企業結合等関係)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2023年10月1日～2024年9月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、地政学リスクの高まりに加えて、日銀による金融緩和の修正により市中金利の上昇や急激な円安、原材料価格や光熱費の高騰による物価上昇など企業経営を取り巻く環境は依然として不透明な状況が続いています。

当連結会計年度は、当社の成長戦略である、商品力強化による「粧美堂ブランド」の価値向上やOEM事業における重点販売先の「モノづくりのパートナー」としての地位獲得、ECビジネスの推進に注力してまいりました。これらの成長戦略が実を結びつつあることに加えてインバウンド消費が拡大したことにより、当連結会計年度の売上高は、対前期比2.3%増の20,919,562千円と過去最高を更新しました。商品構成については利益率の低い他社からの仕入れ商品を圧縮し、利益率の高い自社企画商品の比率を継続的に引き上げてきたことで自社企画商品売上高は17,850,067千円(対前期比4.7%増)と増加し、構成比については85.3%と前期の83.4%から1.9ポイント上昇しました。また売上総利益額は5,504,464千円で対前期比2.5%増となりました。大幅な円安進行と原材料価格上昇に伴い海外で生産委託している自社企画商品の原価高騰は大きな懸念材料でしたが、適宜売価の引き上げを行っており、同利益率は26.3%と対前期比で横ばいとなりました。販売費及び一般管理費は、昨今の物流コストの上昇により物流費が増加しましたが、全体としては対前期比0.1%減の4,494,407千円に抑えることができました。これは陰りが見えた中国市場への対応として海外子会社の業務縮小を一早く決断したことと自社で行っていた物流業務の効率化を図り3PL(3rd Party Logistics)業者に一部を移管したことで物流業務に関わる人件費を圧縮したことが要因であります。

上記の運営により営業利益は対前期比16.2%増の1,010,056千円、経常利益は対前期比0.4%減の967,821千円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、中国におけるコンタクトレンズ関連の連結子会社(孫会社)持分の一部を地場企業等に売却したことによる売却益を97,814千円計上した結果、773,966千円(対前期比62.8%増)となりました。

当社グループの事業セグメントは、「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおり、単一の事業セグメントであります。取扱い商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。なお、ここ数年「化粧品」の売上が大幅に伸びていることもあり当連結会計年度より「化粧品・化粧雑貨」の区分につきましては「化粧品」と「化粧雑貨」に分けて開示をいたします。

(化粧品)

当分類には、メイク関連化粧品、ネイル関連化粧品、ヘアケア関連化粧品などの売上が含まれます。当連結会計年度の売上高は、重点販売先への営業強化により、バラエティショップ向けの人気キャラクターをあしらったスキンケア用品など当カテゴリー全般が好調に推移し8,105,310千円(対前期比2.5%増)と増収となりました。

(化粧雑貨)

当分類には、メイク関連雑貨、ネイル関連雑貨、ヘアケア関連雑貨などの売上が含まれます。当連結会計年度の売上高は、ヒートカーラーやネイル関連雑貨などが好調に推移し6,907,030千円(対前期比7.1%増)と増収となりました。

(コンタクトレンズ関連)

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当連結会計年度の売上高は、国内は好採算のカラーレンズが好調に推移しましたが、中国におけるコンタクトレンズ関連の連結子会社(孫会社)を売却した影響もあり、全体としては2,508,390千円(対前期比1.1%減)と微減となりました。

(服飾雑貨)

当分類には、バッグ、ポーチ・ケース、サイフ類、その他服飾小物などの売上が含まれます。当連結会計年度の売上高は、一部の販売先に対する売上が減少したことなどから2,240,695千円(対前期比10.9%減)となりました。

(その他)

当分類には、ペット用品を含む生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト商品などの売上が含まれます。当連結会計年度の売上高は、人気キャラクターをあしらったペット関連商材を期中に新たに導入した効果もあり1,158,136千円(対前期比11.5%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて769,936千円減少し、14,427,472千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,671,705千円減少し、10,331,835千円となりました。

これは主に、有価証券が220,000千円増加したことに対し、投資有価証券の取得等により現金及び預金が1,277,345千円、売掛金が499,820千円、為替相場の変動等により為替予約が238,782千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて901,768千円増加し、4,095,637千円となりました。

これは主に、投資有価証券が950,308千円増加したことに対し、建物及び構築物が44,595千円、のれんが28,809千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,045,311千円減少し、7,851,954千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて330,017千円減少し、5,486,059千円となりました。

これは主に、短期借入金が400,000千円増加したことに対し、1年内返済予定の長期借入金が230,000千円、未払法人税等が333,893千円、その他に含まれている未払金が138,528千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて715,293千円減少し、2,365,894千円となりました。

これは主に、長期借入金が689,000千円、繰延税金負債が53,283千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて275,374千円増加し、6,575,518千円となりました。

これは主に、利益剰余金が479,545千円増加したことに対し、繰延ヘッジ損益が145,845千円、連結子会社である壹見健康科技(上海)有限公司の持分譲渡による連結除外に伴い非支配株主持分が93,560千円減少したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は362,680千円減少し、3,725,881千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、832,052千円(前年同期は32,161千円の収入)となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益を1,068,781千円計上するとともに、減価償却費203,795千円、のれん償却額28,809千円、売上債権の減少429,699千円、仕入債務の増加181,254千円があったこと、関係会社出資金売却益△97,814千円、棚卸資産の増加△203,076千円、未払金の減少△124,214千円、法人税等の支払額△611,415千円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、395,718千円(対前期比345.0%増)となりました。

これは主に、定期預金の純減額913,551千円、投資有価証券の償還による収入100,000千円があったこと、有形固定資産の取得による支出△190,300千円、投資有価証券の取得による支出△1,300,980千円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、811,111千円(対前期比847.8%増)となりました。

これは主に、短期借入金の純増加額400,000千円、長期借入れによる収入800,000千円があったこと、長期借入金の返済による支出△1,719,000千円、配当金の支払額△290,718千円があったこと等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期
自己資本比率 (%)	38.3	36.6	39.9	40.8	45.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	39.5	40.2	36.7	42.3	50.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	10.6	9.6	15.6	162.6	5.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	23.5	22.8	14.2	1.1	26.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。

2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうちの利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

当社では、収益性の向上という観点から選択と集中を進めてまいりましたが、今後は、「真のメーカー」の立場で「この商品であれば粧美堂」と言われるような定番的商品ラインアップの構築を目指した選択と集中を推進していきます。

当社はディスカウントストア、ドラッグストア、バラエティストア、総合スーパー等の幅広い業態の小売業の中でもトップクラスの企業と取引があり、こうした企業との取引に一層注力することによる成長を展望すると同時に、各社から還元を受けたPOSデータや店頭での情報を、速やかに社内の商品企画セクションに還元し、商品化をスピードアップするという取り組みを行っております。また現場力を最大限に活かすために、現場のマネージャークラスに権限を大幅に委譲し意思決定プロセスを簡素化すると同時に、ITインフラを整備したことで従来以上に社内外の情報の共有化と業務スピードの迅速化に努めています。

また、上記のような小売業のトップクラスの企業は、いずれもPB商品の拡充を経営課題と掲げていることもあり、当社が永年培ってきた化粧品・化粧雑貨などの分野における知見を活かし、主要な重点販売先に商品企画段階から当社社員が提案を繰り返し、魅力ある商品・売り場づくりのお手伝いをすることで、重点販売先と歩調を合わせた成長を目指してまいります。

当社グループは、世界中の多様な個人の「笑顔を、咲かせよう。」という企業理念を掲げ、小さな市場で大きなシェアを持つ、ニッチ市場のNo.1メーカーの集合体を目指すことを今後の目標と定め、ネイルケア、メイクアップ、キッズ向け商品のカテゴリーに焦点を定め経営資源を投入してまいります。また長年に亘るキャラクタービジネスで培った有カライセンサーとの紐帯を一層強化し、当社が企画する商品と組み合わせることで他社商品との差別化を推進してまいります。

また、当社グループでは消費のEC化の進展を見据えて、数年前からEC事業の強化やSNSを通じた情報発信を行い「消費者と直接繋がる」取り組みを進めてまいりました。多様な市場情報の収集、自社メディアからの情報発信力の強化、従来はコンタクトレンズ中心だった取扱品目に当社の強みである化粧品、化粧雑貨などを加えることでEC事業の一層の拡大を進めてまいります。

当社グループでは、当連結会計年度の総仕入額のうち46.4%を海外から外貨建てで仕入れており、その93.0%は米国ドル建ての決済でした。米国ドル建て決済見込み額の約50%程度を目安として為替予約を実施しておりますが、足許の円安基調は当社グループの業績に大きな影響を及ぼします。これに対し当社グループでは、販売先に対する商品価格への転嫁の要請、ゼロベースでの商品仕入先メーカーの見直し、外貨調達手法の一層の高度化、社内業務のDX化による効率化など多岐にわたる方策を検討・実践しております。

以上を踏まえ、通期の連結業績見通しについては、売上高21,500,000千円(対前期比2.8%増)、営業利益1,150,000千円(対前期比13.9%増)、経常利益1,140,000千円(対前期比17.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益780,000千円(対前期比0.8%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、国際会計基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、今後適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,259,425	3,982,079
受取手形	358,889	338,618
売掛金	3,459,833	2,960,013
有価証券	—	220,000
商品及び製品	1,737,770	1,816,241
原材料及び貯蔵品	207,130	245,819
為替予約	643,229	404,447
その他	343,144	369,497
貸倒引当金	△5,881	△4,881
流動資産合計	12,003,540	10,331,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	946,651	902,055
土地	1,307,893	1,307,893
その他（純額）	91,918	127,165
有形固定資産合計	2,346,463	2,337,115
無形固定資産		
のれん	201,663	172,854
その他	26,822	31,774
無形固定資産合計	228,485	204,628
投資その他の資産		
投資有価証券	225,933	1,176,241
退職給付に係る資産	193,655	196,607
その他	199,837	181,551
貸倒引当金	△505	△505
投資その他の資産合計	618,920	1,553,894
固定資産合計	3,193,868	4,095,637
資産合計	15,197,409	14,427,472

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,824,233	1,876,425
短期借入金	900,000	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,624,000	1,394,000
未払法人税等	398,795	64,902
契約負債	16,102	22,382
賞与引当金	153,300	151,138
その他	899,646	677,211
流動負債合計	5,816,077	5,486,059
固定負債		
長期借入金	2,703,500	2,014,500
繰延税金負債	158,864	105,580
役員退職慰労引当金	127,950	148,630
資産除去債務	71,275	71,838
その他	19,597	25,345
固定負債合計	3,081,188	2,365,894
負債合計	8,897,265	7,851,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	4,892,569	5,372,114
自己株式	△81,071	△81,071
株主資本合計	5,621,310	6,100,856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,847	87,996
繰延ヘッジ損益	395,607	249,761
為替換算調整勘定	119,818	136,904
その他の包括利益累計額合計	585,273	474,662
非支配株主持分	93,560	—
純資産合計	6,300,143	6,575,518
負債純資産合計	15,197,409	14,427,472

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	20,443,768	20,919,562
売上原価	15,074,064	15,415,097
売上総利益	5,369,703	5,504,464
販売費及び一般管理費		
販売促進費	502,561	565,316
物流費	1,002,465	1,108,451
貸倒引当金繰入額	4,571	△1,000
給料手当及び賞与	1,219,719	1,133,226
賞与引当金繰入額	145,100	142,488
退職給付費用	14,941	29,223
役員退職慰労引当金繰入額	12,300	20,680
その他	1,598,721	1,496,022
販売費及び一般管理費合計	4,500,381	4,494,407
営業利益	869,322	1,010,056
営業外収益		
受取利息	20,169	22,599
受取配当金	4,518	3,994
受取手数料	7,850	7,496
不動産賃貸収入	10,593	10,523
為替差益	87,068	—
その他	13,378	13,568
営業外収益合計	143,578	58,181
営業外費用		
支払利息	25,929	27,733
賃貸借契約解約損	6,520	—
為替差損	—	56,430
その他	8,410	16,254
営業外費用合計	40,860	100,417
経常利益	972,040	967,821
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8,015
関係会社出資金売却益	—	97,814
特別利益合計	—	105,829
特別損失		
投資有価証券売却損	—	4,869
事業整理損	109,333	—
特別損失合計	109,333	4,869
税金等調整前当期純利益	862,706	1,068,781
法人税、住民税及び事業税	491,548	270,578
法人税等調整額	△110,708	23,513
法人税等合計	380,839	294,091
当期純利益	481,866	774,690
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	6,431	723
親会社株主に帰属する当期純利益	475,435	773,967

連結包括利益計算書

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
当期純利益	481,866	774,690
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,312	18,148
繰延ヘッジ損益	△41,137	△145,845
為替換算調整勘定	△13,939	21,494
その他の包括利益合計	△29,764	△106,202
包括利益	452,102	668,487
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	447,530	667,818
非支配株主に係る包括利益	4,572	668

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	545,500	264,313	4,549,231	△81,071	5,277,972
当期変動額					
剰余金の配当			△132,097		△132,097
親会社株主に帰属する当期純利益			475,435		475,435
連結範囲の変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	343,337	—	343,337
当期末残高	545,500	264,313	4,892,569	△81,071	5,621,310

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	44,535	436,744	131,899	613,178	88,987	5,980,138
当期変動額						
剰余金の配当						△132,097
親会社株主に帰属する当期純利益						475,435
連結範囲の変動						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	25,312	△41,137	△12,080	△27,905	4,572	△23,332
当期変動額合計	25,312	△41,137	△12,080	△27,905	4,572	320,005
当期末残高	69,847	395,607	119,818	585,273	93,560	6,300,143

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	545,500	264,313	4,892,569	△81,071	5,621,310
当期変動額					
剰余金の配当			△290,615		△290,615
親会社株主に帰属する当期純利益			773,966		773,966
連結範囲の変動			△3,805		△3,805
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	479,545	—	479,545
当期末残高	545,500	264,313	5,372,114	△81,071	6,100,856

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	69,847	395,607	119,818	585,273	93,560	6,300,143
当期変動額						
剰余金の配当						△290,615
親会社株主に帰属する当期純利益						773,966
連結範囲の変動						△3,805
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	18,148	△145,845	17,086	△110,610	△93,560	△204,170
当期変動額合計	18,148	△145,845	17,086	△110,610	△93,560	275,374
当期末残高	87,996	249,761	136,904	474,662	—	6,575,518

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	862,706	1,068,781
減価償却費	192,750	203,795
のれん償却額	28,809	28,809
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,267	△1,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19,443	△2,162
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12,300	20,680
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△14,620	△2,951
受取利息及び受取配当金	△24,687	△26,593
支払利息	25,929	27,733
関係会社出資金売却益	—	△97,814
事業整理損	109,333	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△278,588	429,699
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△433,227	△203,076
未収入金の増減額 (△は増加)	△12,267	△10,735
仕入債務の増減額 (△は減少)	△207,896	181,254
未払消費税等の増減額 (△は減少)	13,606	△10,053
未払金の増減額 (△は減少)	40,723	△124,214
その他	270	△34,056
小計	336,852	1,448,096
利息及び配当金の受取額	20,378	27,177
利息の支払額	△28,267	△32,045
法人税等の支払額	△298,925	△611,415
法人税等の還付額	2,122	240
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,161	832,052
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△5,089	913,551
有形固定資産の取得による支出	△76,768	△190,300
無形固定資産の取得による支出	△2,880	△20,255
投資有価証券の取得による支出	—	△1,300,980
投資有価証券の売却による収入	—	58,507
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による収入	—	37,349
その他	△4,184	6,408
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,923	△395,718
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	800,000	400,000
長期借入れによる収入	1,200,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△1,952,000	△1,719,000
配当金の支払額	△132,201	△290,718
その他	△1,374	△1,393
財務活動によるキャッシュ・フロー	△85,576	△811,111
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,386	12,097
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△144,725	△362,680
現金及び現金同等物の期首残高	4,233,287	4,088,562
現金及び現金同等物の期末残高	4,088,562	3,725,881

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外費用」の「不動産賃貸費用」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外費用」に表示していた「不動産賃貸費用」2,681千円、「その他」5,728千円は、「その他」8,410千円として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めておりました「未払金の増減額(△は減少)」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。また、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他流動資産の増減額(△は増加)」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「その他流動資産の増減額(△は増加)」△935千円、「その他」41,929千円は、「未払金の増減額(△は減少)」40,723千円、「その他」270千円として組替えております。

(企業結合等関係)

事業分離

(子会社持分の譲渡)

当社の連結子会社である粧美堂日用品（上海）有限公司（以下「上海粧美堂」）は、2023年10月11日開催の取締役会決議に基づき、2023年10月12日に上海粧美堂の子会社（当社の孫会社）である壹見健康科技（上海）有限公司（以下「壹見」）の持分の一部を譲渡する旨の出資持分譲渡契約を締結し、2024年1月2日に持分譲渡を行いました。これに伴い、壹見は当社の連結子会社から除外しております。

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

杭州悠可化粧品有限公司及び戴氏

(注) 杭州悠可化粧品有限公司は持分譲渡契約に基づく全ての権利及び義務を同社のグループ会社である上海悠期品牌管理有限公司に譲渡しております。

(2) 分離した事業の内容

コンタクトレンズの製造及び販売

(3) 事業分離を行った主な理由

当社は、2019年4月に中国市場拡大を目的として、上海に壹見を設立いたしました。中国の天猫に旗艦店を出店し、BtoCのECサイトでコンタクトレンズの販売拡大を図ってまいりましたが、昨今の価格競争の激化、さらには世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、上海粧美堂が保有する壹見の持分51%のうち、41%を杭州悠可化粧品有限公司及び戴氏に譲渡いたしました。

本件持分の譲渡により、経営資源の選択と集中を図ることで、当社グループの企業価値を更に高められるものと考えております。

(4) 事業分離日

2024年1月2日（みなし売却日2024年1月1日）

(5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする持分譲渡

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損益の金額

97,814千円

(2) 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	296,206千円
固定資産	45,730千円
資産合計	341,936千円
流動負債	149,632千円
負債合計	149,632千円

(3) 会計処理

当該譲渡持分の連結上の帳簿価額と売却価額との差額を「関係会社出資金売却益」として特別利益に計上しております。

3. 分離した事業が含まれていた報告セグメント

当社グループの事業セグメントは、単一セグメントであるため、該当事項はありません。

4. 当連結会計年度の連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

売上高	222,632千円
営業利益	4,586千円

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループは、化粧品、化粧雑貨、服飾雑貨、キャラクター雑貨及びコンタクトレンズ関連等の商品を幅広く取扱っており、これらの商品を小売業者、卸売業者等へ販売しております。取扱い商品は多種多様ですが、商品の調達方法及び販売方法等については概ね同一であることから単一の事業セグメントとすることが、過去の業績を理解し、将来キャッシュ・フローの予測を適切に評価でき、事業活動の内容及び経営環境に関して適切な情報提供につながると判断できるため、単一の報告セグメントとしております。

この報告セグメントは、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するため、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

当社グループは、報告セグメントが単一であるため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当社グループは、報告セグメントが単一であるため、記載を省略しております。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

当社グループは、報告セグメントが単一であるため、記載を省略しております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

1. 商品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	化粧品	化粧雑貨	コンタクトレンズ 関連	服飾雑貨	その他	合計
外部顧客への売上高	7,906,048	6,449,153	2,535,670	2,514,631	1,038,264	20,443,768

(注) 従前より「化粧品・化粧雑貨」に含まれていた化粧品の売上高が大幅に増加したことにより、当連結会計年度から「化粧品・化粧雑貨」の区分を「化粧品」と「化粧雑貨」に分けて記載しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント名
株式会社PALTAC (注) 2	2,948,185	—
株式会社セリア	2,271,560	—
株式会社しまむら	2,139,506	—

(注) 1. 当社グループは単一セグメントであるため、関連するセグメント名の記載を省略しております。

2. 株式会社PALTACへ販売した商品は、主に株式会社大創産業へ卸され、ダイソー店舗等にて一般消費者へ販売されております。

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

1. 商品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	化粧品	化粧雑貨	コンタクトレンズ 関連	服飾雑貨	その他	合計
外部顧客への売上高	8,105,310	6,907,030	2,508,390	2,240,695	1,158,136	20,919,562

(注) 従前より「化粧品・化粧雑貨」に含まれていた化粧品の売上高が大幅に増加したことにより、当連結会計年度から「化粧品・化粧雑貨」の区分を「化粧品」と「化粧雑貨」に分けて記載しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント名
株式会社セリア	2,875,328	—
株式会社ドン・キホーテ	2,285,370	—

(注) 当社グループは単一セグメントであるため、関連するセグメント名の記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

のれんの償却額は28,809千円、未償却残高は201,663千円であります。

当社グループの報告セグメントは単一であるため、報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報は記載しておりません。

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

のれんの償却額は28,809千円、未償却残高は172,854千円であります。

当社グループの報告セグメントは単一であるため、報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報は記載しておりません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	469.85円	497.78円
1株当たり当期純利益	35.99円	58.59円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	475,435	773,966
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	475,435	773,966
普通株式の期中平均株式数(株)	13,209,773	13,209,773

(重要な後発事象)

該当事項はありません。